

2016年4月5日

**■ 高い出力性能と優れた信号処理能力を備えた DSP 搭載型高音質パワーアンプ****ヤマハ パワーアンプリファイアー 『PX シリーズ』**

- カスタム LSI と新規設計クラス D エンジンを搭載し軽量化と高信頼性を両立、6 月発売 -

ヤマハ株式会社は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、パワーアンプリファイアー『PX シリーズ』4モデルを6月に発売します。

**<価格と発売日>**

品名	品番	希望小売価格	発売日
ヤマハ パワーアンプリファイアー	PX10	オープンプライス	2016年6月
	PX8	オープンプライス	2016年6月
	PX5	オープンプライス	2016年6月
	PX3	オープンプライス	2016年6月

**<製品の概要>**

当社は、1976年に発表したパワーアンプの第一号機「P2200」以来40年にわたり、ライブSR（コンサート用音響）をはじめとするさまざまなシーンに、圧倒的なパワーと高い信頼性を実現したパワーアンプを送りだしてきました。

『PX シリーズ』は、その血統を受け継ぎつつ最新の技術とノウハウを盛り込んだ、高い出力性能と優れた信号処理能力を備えた高音質パワーアンプです。パワーが異なる4モデルをラインアップし、ライブSRから設備音響まで、幅広いアプリケーションに対応します。

カスタム LSI を使用した新規設計のクラス D エンジンを搭載、1 チップに必要な機能を凝縮したシンプルな構成にすることで軽量化と高信頼性を両立しました。また、高性能 DSP と信号処理におけるノウハウの融合による柔軟なプロセッシングにより、使用するスピーカーに最適な設定を施すコンフィギュレーターやヤマハスピーカーに最適なチューニングのプリセット群など、簡易な操作でスピーカーを保護しながら最大限のパワーをスピーカーに提供します。

詳細は以下の通りです。

**<主な特長>****1. 強力な出力性能**

心臓部には、新設計のクラス D エンジンを採用しました。PLL 技術を応用し、伝達特性をリアル

タイムにコントロールすることで音質・性能と効率駆動を実現、1チップの自社設計カスタム LSI に必要な機能を凝縮したシンプルな構成にすることで軽量化と信頼性を向上しました。従来のアンプ回路と部品構成を徹底的に見直すとともに先進の技術を取り入れ、低消費電力、低ノイズ、高音質、高次元な保護機能と相反する要素を高いレベルで実現しています。



## 2. 「D-CONTOUR」を始めとするさまざまな DSP 機能

『PX シリーズ』は、スピーカーのプロセッシングに必要な PEQ、クロスオーバー、フィルター、ディレイ、リミッターなどの強力なプロセッサを内蔵し、外部アウトボードを用意する必要がなく大型 LCD 画面から操作可能です。また、接続するスピーカーの用途に最適な周波数特性に設定する「D-CONTOUR」を搭載。FOH、フロアモニターなどに適した設定を行うことができ、効果のかけ具合も簡単に調整できます。

## 3. 用途に合わせたモード設定

『PX シリーズ』は、用途に合わせてベーシックモードとアドバンスモードを用意しています。ベーシックモードは最低限の設定だけで簡単に使用したいときに便利で、アドバンスモードは詳細にわたり設定したいときに使用します。アンプの設定は、「アンププリセット」として本体に8個まで保存でき瞬時に呼び出すことができるため、セットアップを素早く簡単に完了できます。



また、これらのプリセットデータは、USB ポートより抽出して他の『PX シリーズ』に設定をコピーすることができるため、仕込みの時間を大幅に短縮できるだけでなく、さまざまなシーンに合わせたカスタマイズが可能になります。

## 4. 各種スピーカーへの最適な設定を可能にするコンフィグウィザードとプリセット

コンフィグウィザードを使用することで、各種スピーカーへの最適な設定を瞬時に行うことができます。接続するスピーカーの組み合わせを設定し、フィルター、クロスオーバーを選ぶだけで設定完了。当社のスピーカーと組み合わせる場合、モデル毎に緻密にチューニングされた設定が既に組み込まれているため、接続するスピーカーの組み合わせの設定を行うだけで最適な設定が施されます。アドバンスモードではさらに詳細にわたる設定が可能で、入力信号のルーティング、入力感度/アンプゲイン、スピーカーインピーダンスを選ぶことができます。



## 5. 豊富な入出力端子と堅牢なハードウェア

入力端子は XLR と TRS フォーンを併装。出力端子はバイディングポストに加え、スピコン、フォーンを備え、さまざまな用途に対応します。持ちやすさと堅牢さを兼ね備えたハンドルなど、ハードウェアの細部にわたりプロフェッショナルの要求に応える設計を施しました。

## 6. さまざまな設定、監視が可能なユーティリティ

『PX シリーズ』ではさまざまなパネル設定、状態監視、データのやり取りが可能。パネルロックを設定すれば設置後に誤って操作をされるのを防ぐことができます。また、アンプ内部の状態が確認できるデバイスインフォメーション、動作ログの表示、USB メモリーへの保存機能を使えば迅速なトラブルシューティングが可能となります。

## <主な仕様>

モデル	PX10	PX8	PX5	PX3	
出力	8 Ω	1000W×2	800W×2	500W×2	300W×2
	4 Ω	1200W×2	1050W×2	800W×2	500W×2
	2 Ω	700W×2	600W×2	500W×2	300W×2
	8 Ω/Power Boost Mode	-	-	800W×1	600W×1
	4 Ω/Power Boost Mode	-	-	1200W×1	1000W×1
増幅方式 (出力回路)	Class D、バランス出力回路 (BTL)				
全高調波歪率	1 kHz, 10 W	0.1%			
	1 kHz, half power	0.3%			
周波数特性	1 W, 8 Ω	20Hz~20kHz, ±1.0dB			
クロストーク	Half power, 8 Ω, 1 kHz, vol. max., input 150 Ω shunt	≤ -60 dB			
S/N 比	A-weighted, 8 Ω, gain setting = +14dBu	101 dB	101 dB	100 dB	100 dB
最大入力レベル	+24 dBu				
入力インピーダンス	20 kΩ (バランス)、10 kΩ (アンバランス)				
電源条件	100 V 50 Hz/60 Hz				
消費電力	1/8 MAX power, 4 Ω, pink noise at all channels	310 W	280 W	230W	160 W
	Idle, 4 Ω	60 W	60 W	55 W	55 W
動作温度	0°C ~ +40°C				
保管温度	-20°C ~ +60°C				
外形寸法 (W×H×D)	480×88×388 mm				
質量	7.4 kg	7.2 kg	6.9 kg	6.9 kg	
付属品	AC コード誤脱防止クランプ、USB キャップ、取扱説明書、スペックシート、AC コード (2.5m, 3P, 3P-2P 変換アダプタ) ×1				

\* 0dBu=0.775Vrms



パワーアンプリファイアー『PX10』リアパネル



## ヤマハ パワーアンプリファイアー『PX シリーズ』

2016年6月発売

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ 担当：木崎

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)  
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

プロオーディオ・インフォメーションセンター

TEL 0570-050-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

(電話受付：祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)

ウェブサイト <http://jp.yamaha.com/support/>